

東京2020大会の競技会場における アクセシビリティ・ワークショップについて

東京都オリンピック・パラリンピック準備局
パラリンピック部

1 東京都が整備する競技会場

東京アクアティクスセンター	有明アリーナ	海の森水上競技場	新設施設
			既存施設
カヌー・スラロームセンター	大井ホッケー競技場	夢の島公園アーチェリー場	有明テニスの森
 ※平成28年度5月時点でのイメージ図		 ※平成31年1月時点の大会後イメージ図	
武蔵野の森総合スポーツプラザ	東京体育館	東京辰巳国際水泳場	東京スタジアム
 ※平成29年4月撮影			

2 Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン



【発行】

公益財団法人

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

【発行年月日】

2017年3月24日

【概要】

○組織委員会がIPC(国際パラリンピック委員会)の求めに応じて策定する、大会運営におけるハード・ソフト両面のバリアフリー化を目的とした指針。

○2014年11月に、国、都、組織委員会共催で「アクセシビリティ協議会」を立ち上げて以降、3つの部会を設け、20に亘る障害当事者団体等の意見を聞きながら策定

<参考>ダウンロードページ

<https://tokyo2020.jp/jp/organising-committee/accessibility/>

2

3 アクセシビリティ・ワークショップ

○ 概要

- 東京2020大会で使用する都立競技施設については、ガイドラインを適切に反映することに加え、より障害者の目線に立った施設となるよう、設計段階において、障害のある方や学識経験者等から直接意見を聴取するために設置



大会時のみでなく、大会後の利用も見据えて、障害のある人もない人も含めた全ての人にとって使いやすい施設を残すことを目指す



3

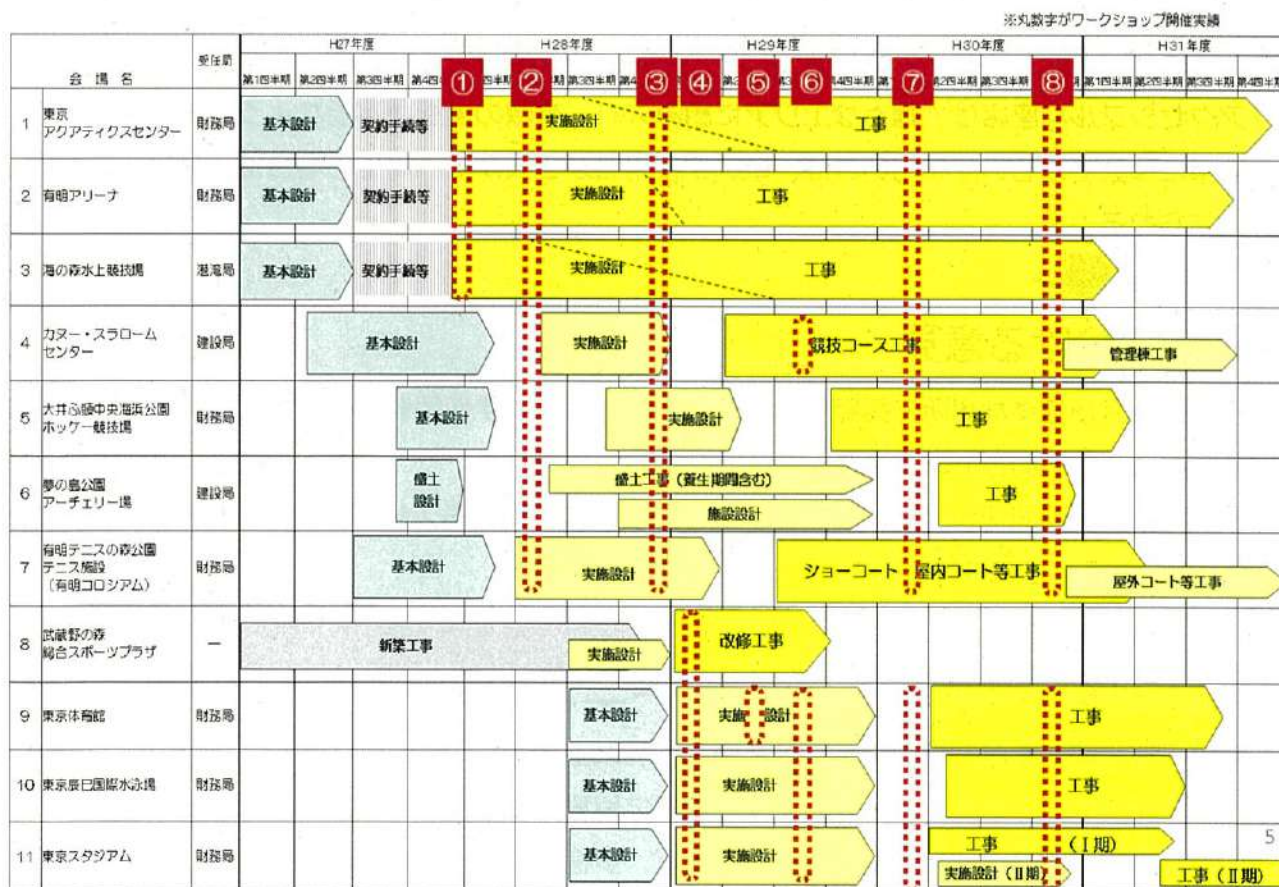
4 アクセシビリティ・ワークショップ委員

	氏名	所属
障害者団体 (東京都福祉のまちづくり推進協議会)	市橋 博	障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会 会長
	越智 大輔	公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟 事務局長
	吉田 美奈子	公益社団法人 東京都盲人福祉協会 副会長
	菊地 高	東京都精神障害者団体連合会 事務局長
	永田 直子	社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会 副理事長
学識経験者 (東京都福祉のまちづくり推進協議会)	高橋 儀平	東洋大学 ライフデザイン学部 教授
	川内 美彦	東洋大学 ライフデザイン学部 教授
	中野 泰志	慶應義塾大学 経済学部 教授
障害者 スポーツ団体	屋敷 優友	公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 強化部 強化支援課主査 (日本パラリンピック委員会 事務局)

※第8回ワークショップ開催時点(2019年2月)

4

5 設計・整備の進捗に応じ、ワークショップを開催



5

6 主な検討項目

項 目	
① 観客席	・車いす席や付加アメニティ席(※)の垂直、水平分散配置 ・車いす使用者のサイトライン確保 ・車いす席、付加アメニティ席の仕様 ・手すりの設置 ※付加(エンハンスド)アメニティ座席は、車いすを使用していないが、歩行困難である場合や補助犬ユーザー、足腰・長身・横幅が広い等何らかの理由で配慮された席が必要な人のための席
② トイレ	・機能の分散配置 ・異性の介助者等への対応 ・個室トイレ内での災害認知 ・トイレ個室の仕様と寸法
③ サイン	・配置、大きさ、書体、コントラスト ・ピクトグラム ・多言語対応
④ その他	・音声案内設備 ・視覚障害者誘導用ブロック ・救護スペース、救護室 ・エレベーターの閉じ込め対策 ・大型スクリーン ・集団補聴設備

6

7 取組例① 車いす席・同伴者席、付加アメニティ席

■ アクセシビリティ・ガイドラインにおける記載

「アクセシブルな座席は、様々なエリアに組み入れ、複数の選択が可能によう配慮する。」

「簡単に移動できるいすを用いれば、車いす使用者が2人かそれ以上の場合は、車いすを横に並べられる。」



■ WSにおける意見

「一般の観客が様々な場所で観戦できるのであれば、車いす使用者席の分散配置などにより、障害のある方も同様であるべき。」

「車いす使用者の同伴者席は、固定よりも可動にして、車椅子2台に同伴者1名とか、様々な対応ができるようにすべき。」



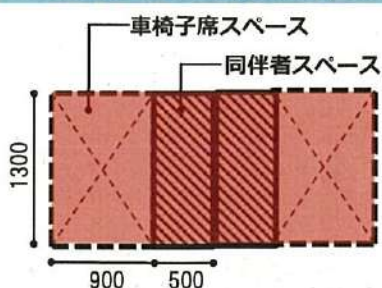
■ 車いす席・同伴者席、付加アメニティ席の考え方

- 車いす席・同伴者席、付加アメニティ席を1%以上確保
- バリアフリーアクセス、サイトライン、避難に留意しつつ、垂直・水平分散を実現
- 座席を固定せずスペースの用意とすることで、多様な利用形態に対応

7

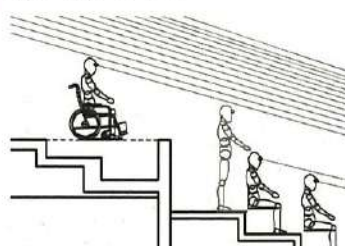
7 取組例① 車いす席・同伴者席、付加アメニティ席

車いす席・同伴者席の仕様



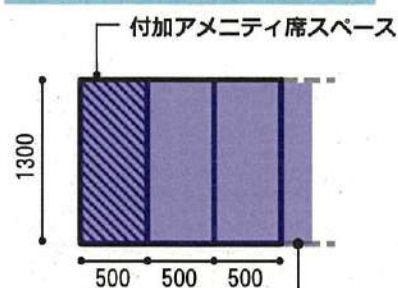
座席を固定せずスペースの用意とすることで、多様な利用形態に対応

※サイトライン

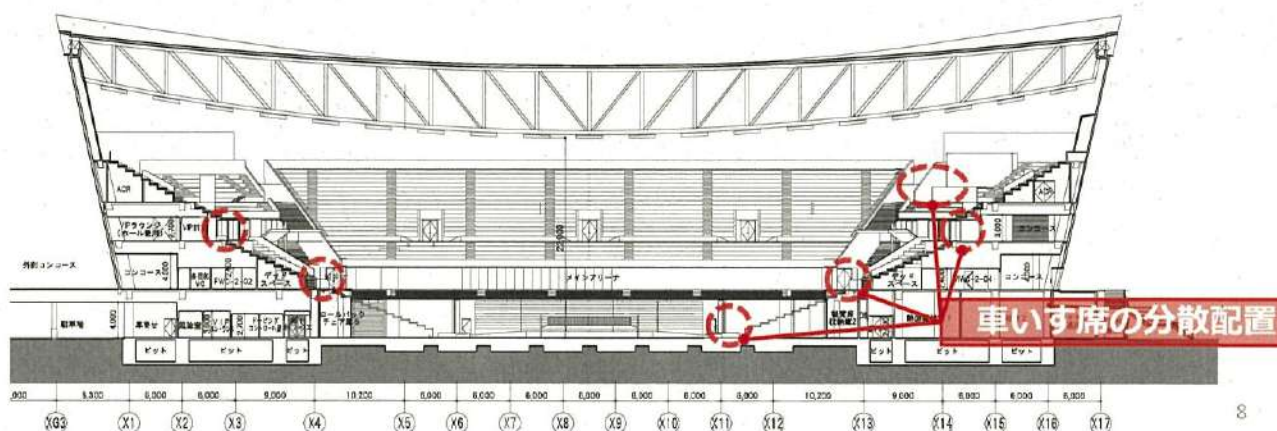


車いす席の前列の観客が立ち上がった場合でも、車いす利用者のサイトラインを確保

付加アメニティ席の仕様



歩行困難である場合や補助犬ユーザー等、何らかの理由で配慮が必要な人の実情に応じ、フレキシブルに利用可能



8

8 取組例② トイレ機能の分散配置

■ アクセシビリティ・ガイドラインにおける記載

「多機能トイレを補完し、機能を分散して配置できるよう、
男女別のトイレ内に『簡易型多機能便房』『個別機能を備えた便房』を設置する」



■ WSにおける意見

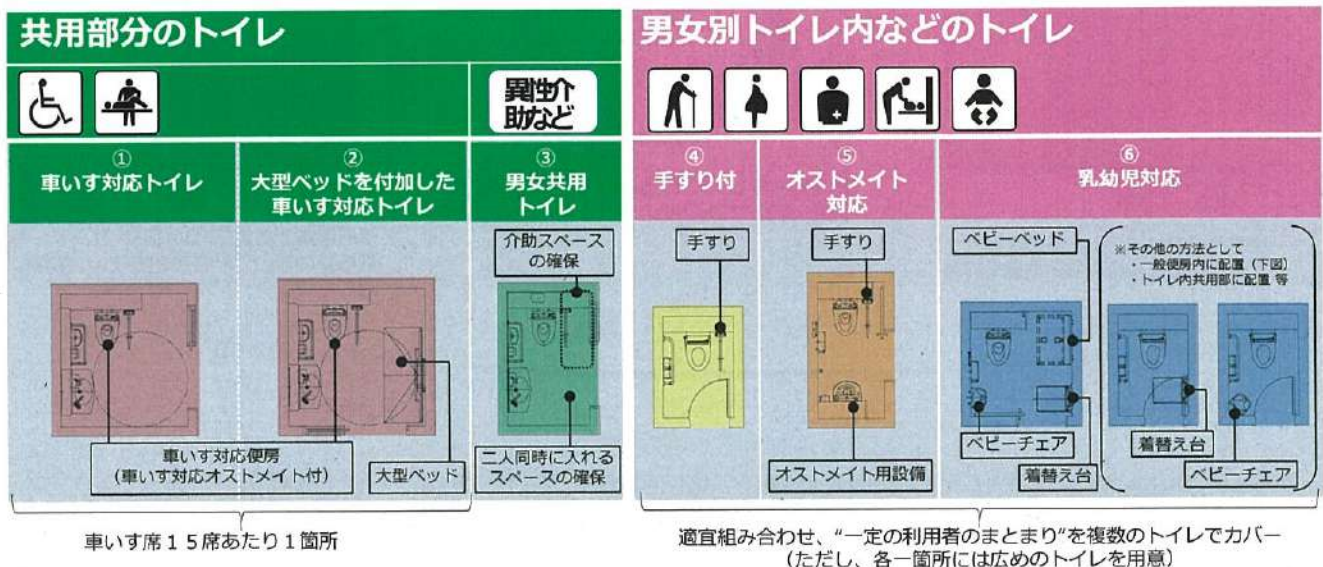
「多目的トイレのみに機能を集中せず、狭くても機能別のものを分散してほしい。」
「同性介助がどうしてもできない場合のために、狭くても機能も少なくてもいいので、異性が一緒に入れるトイレが欲しい」



■ トイレの機能分散の考え方

- 車いすトイレに利用が集中しないよう、利用者それぞれに対応したトイレを個別に用意（機能を分散）
- 次頁の種類を用意することを原則に、トイレ利用の集中度合いや利用者層の違いなど、各施設の利用特性を踏まえつつ配置

8 取組例② トイレ機能の分散配置



「アクセシビリティ・ワークショップ」ホームページ：

<http://www.2020games.metro.tokyo.jp/taikaijyunbi/torikumi/facility/accessibility-workshop/index.html>

10

9 まとめ

○設計段階から当事者の意見を伺うことにより、
利用者の目線に立ったきめ細やかな気づきを
施設整備に反映

○ハード整備では対応できない備品や運用等の
ソフト面に関する意見は、大会組織委員会や
施設管理者に情報提供を行い、活用を依頼

【参考】観客席数・トイレ配置数（新施設）

		有明アリーナ	東京アクアティクスセンター	海の森水上競技場	大井町中央海浜公園 ホッケー競技場※2		有明テニスの森公園 テニス施設		カヌースラロームセンター ※2・4
					メインピッチ	サブピッチ	コロシアム※3	ショーコート	
観客席									
総座席数(レガシー)		約15,000席 (観客席：1階～4階)	約5,000席 (観客席：2階・3階)	約2,000席 (観客席：1階・2階)	約2,600席 (観客席：2階・3階)	約500席 (観客席：2階・3階)	約9,700席 (観客席：1階～3階)	約3,000席 (観客席：1階・2階)	
車いす使用者席(席数) (配置)		計 150席 (1.0%) 1～4階席に配置	計 52席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 24席 (1.2%) 1・2階席に配置	計 26席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 5席 (1.0%) 2階席に配置	計 98席 (1.0%) 1・2階席に配置	計 36席 (1.2%) 1・2階席に配置	
同伴者席(席数) (配置)		計 150席 (1.0%) 1～4階席に配置	計 52席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 24席 (1.2%) 1・2階席に配置	計 26席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 5席 (1.0%) 2階席に配置	計 98席 (1.0%) 1・2階席に配置	計 36席 (1.2%) 1・2階席に配置	
優先席【付加アメニティ席】 (席数) (配置)		計 157席 (1.0%) 2～4階席に配置	計 52席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 24席 (1.2%) 1・2階席に配置	計 26席 (1.0%) 2・3階席に配置	計 5席 (1.0%) 2階席に配置	計 102席 (1.0%) 1・2階席に配置	計 36席 (1.2%) 1・2階席に配置	
磁気ループ席(席数) (配置)		計 1,520席 2～4階席に配置	計 840席 2階席に配置	計 850席 1・2階席に配置 (FM方式)	計 260席 2階席に配置	計 80席 2階席に配置	計 1,216席 2階席に配置	計 250席 2階席に配置	
トイレ									
機能分散状況(観客・関係者用含む)									
車いす対応トイレ設置数		25	17	16	9	4	15	6	3
男女共用トイレ設置数		14	5	2	4	2	4	2	3
手すり付トイレ設置数※1		67	20	33	25	6	39	27	8
オストメイト対応トイレ設置数※1		15	12	2	3	4	10	2	1
乳幼児対応トイレ設置数※1		11	13	6	13	16	33	9	1

※1 この他、車いす対応トイレ又は男女共用トイレ内に設置されている場合もあり

※2 パラリンピック会場としては利用予定なし。オリンピック会場としてのみ利用

※3 有明コロシアムは既存施設だが、有明テニスの森公園テニス施設として、新施設として一体で工事を進めているため、本表に記載

※4 カヌースラロームセンターは、東京2020大会時の観客席の設置は仮設整備の為、恒設整備はなし

※ 夢の島公園アーチェリー場は、東京2020大会時の観客席等の設置は仮設整備の為、恒設整備はなし

【参考】Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン（座席比率概要）

車いす席：オリンピック大会会場 ⇒ 0.75%
同伴者席：車いす座席と同比率で設置

パラリンピック大会会場 ⇒ 1.0～1.2%

付加アメニティ席：1%用意することが望ましい

12

【参考】観客席数・トイレ配置数（既存施設）

	東京体育館 (メインアリーナ)	東京辰巳国際水泳競技場※1	東京スタジアム※1 (スタジアム棟)	武蔵野の森総合スポーツプラザ
観客席				
総座席数(レガシー)	改修前 6,030席 (観客席：2階・3階)	改修前 3,600席 (観客席：2階～3階)	改修前 49,930席 (観客席：上・下層スタンド)	改修前 6,662席 (観客席：3階・4階)
改修後	5,314席 (観客席：2階・3階)	3,513席 (観客席：2階・3階)	47,872席 (観客席：上・下層スタンド)	6,018席 (観客席：3階・4階)
車いす使用者席(席数)	計 29席 (配置) 2階席に配置	計 20席 (配置) 2階席に配置	計 394席 (配置) 下層スタンドに配置	計 1席 (配置) 3階席に配置
改修後	計 55席 (1.03%) (配置) 2階席に配置	計 36席 (1.02%) (配置) 2階席に配置	計 328席 (0.68%) (配置) 下層スタンドに配置	計 69席 (1.14%) (配置) 3階席に配置
同伴者席(席数)	設置なし	設置なし	設置なし	設置なし
改修後	計 55席 (1.03%) (配置) 2階席に配置	計 36席 (1.02%) (配置) 2階席に配置	計 328席 (0.68%) (配置) 下層スタンドに配置	計 55席 (0.91%) (配置) 3階席に配置
優先席【付加アメニティ席】(席数)	設置なし	設置なし	設置なし	設置なし
改修後	計 16席 (0.3%) (配置) 2階席に配置	計 18席 (0.51%) (配置) 2階席に配置	計 72席 (0.15%) (配置) 下層スタンドに配置	計 62席 (1.03%) (配置) 3階・4階席に配置
磁気ループ席(席数)	設置なし	約 170席 (FM方式)	計 224席 (配置) 下層スタンドに配置	計 138席 (配置) 3階席に配置
改修後	(FM方式を検討)	約 170席 (配置) 2階席に配置 (FM方式)	計 211席 (配置) 下層スタンドに配置	約 100席 (配置) 3階席に配置
トイレ				
機能分散状況(観客・関係者用含む)				
車いす対応トイレ設置数	11	5	15	9
改修後	11	10	26	9
【改修後】 車いす対応トイレの利用集中を緩和する為、「手すり」「オストメイト」「ベビーチェア」「おむつ交換台」の機能を男子・女子トイレになるべく分散して配置。「異性介助用の男女共用トイレ」が、スペース等の確保が出来ず設置困難な場合、車いす対応トイレを利用した際にプライバシーを確保できるよう、カーテンの設置を検討				

※1 パラリンピック会場としては利用予定なし。オリンピック会場としてのみ利用

【参考】Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン（座席比率概要）

車いす席：オリンピック大会会場 ⇒ 0.75%
同伴者席：車いす座席と同比率で設置

パラリンピック大会会場 ⇒ 1.0～1.2%

付加アメニティ席：1%用意することが望ましい

13

